

五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和元年度 事業評価資料
(平成30年度の進捗状況)

令和元年7月9日

五 條 市

五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【KPI総括】

(平成30年度の進捗状況)

目次

	項番号
◆ はじめに	1
◆ 担当課一覧	2
◆ 基本目標 1 子どもを育てたいまちをつくる【事業総括】	3～4
・ 基本目標 1【KPI総括】	5
◆ 基本目標 2 安心して定住できる都市をつくる【事業総括】	6～7
・ 基本目標 2【KPI総括】	8
◆ 基本目標 3 地域資源で新たな産業をつくる【事業総括】	9～10
・ 基本目標 3【KPI総括】	11
◆ 基本目標 4 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる【事業総括】	12
・ 基本目標 4【KPI総括】	13
◆ 地方創生交付金事業	14～15

はじめに

五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇話会では、五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進及び評価に関すること※を所掌事務としていることから、年度毎に事業評価を行い、関連各種事業のPDCAサイクルを実施するものです。

(※ 五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇話会要綱 第2条第2号)



五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系

基本目標	1. 子どもを育てたいまちをつくる			2. 安心して定住できる都市をつくる					3. 地域資源で新たな産業をつくる				4. 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる						
基本方針	1-1 地域に馴染む子育ての充実	1-2 結婚・出産の環境づくり		1-3 選ばれる教育環境づくり	2-1 安心・快適なまちづくり					3-1 地域資源を活かした産業づくり			3-2 起業・創業の環境づくり		4-1 地域ブランドの確立による観光・交流づくり				
具体的施策	1-1-1 切れ目のない子育て支援を実施する	1-2-1 出産しやすい環境をつくる	1-2-2 出会いの環境をつくる	1-3-1 まちづくりと一体となった学校の規模と配置の適正化に取り組む	1-3-2 将来を担う人を育て、まちをつくる教育内容の適正化に取り組む	2-1-1 住みよいまちづくりに取り組む	2-1-2 新しい居住スタイルを発信する	2-1-3 広域防災・防災教育の要をつくる	2-1-4 安心できるまちづくり	2-1-5 大阪・神戸・京都・奈良を結ぶ広域ネットワークを構築する	3-1-1 裾野の広い観光産業を確立する	3-1-2 木質バイオマスによる産業づくり	3-1-3 地産地消をエコツアーとして確立する	3-1-4 水資源を活用した産業づくり	3-2-1 起業・創業に係る支援環境づくり	3-2-2 農業経営を支援する	3-2-3 高齢化社会に適応した雇用づくり	4-1-1 五條の「食の価値」を確立・成長させる	4-1-2 五條の「あかね色」を原風景化する

五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策と担当課

基本目標	1. 子どもを育てたいまちをつくる					2 安心して定住できる都市をつくる					3. 地域資源で新たな産業をつくる						4. 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる			
基本方針	1-1 地域に馴染む子育ての充実		1-2 結婚・出産の環境づくり		1-3 選ばれる教育環境づくり		2-1 安心・快適なまちづくり					3-1 地域資源を活かした産業づくり				3-2 起業・創業の環境づくり			4-1 地域ブランドの確立による観光・交流づくり	
具体的施策	1-1-1 切れ目のない子育て支援を実施する	1-2-1 出産しやすい環境をつくる	1-2-2 出会いの環境をつくる	1-3-1 まちづくりと一体となった学校の規模と配置の適正化に取り組み	1-3-2 将来を担う人を育て、まちをつくる教育内容の適正化に取り組み	2-1-1 住みよいまちづくりに取り組む	2-1-2 新しい居住スタイルを発信する	2-1-3 広域防災・防災教育の要をつくる	2-1-4 安心できるまちづくり	2-1-5 大阪・神戸・京都・奈良を結ぶ広域ネットワークを構築する	3-1-1 裾野の広い観光産業を確立する	3-1-2 木質バイオマスによる産業づくり	3-1-3 地産地消をエコツアールとして確立する	3-1-4 水資源を活用した産業づくり	3-2-1 起業・創業に係る支援環境づくり	3-2-2 農業経営を支援する	3-2-3 高齢化社会に適応した雇用づくり	4-1-1 五條の「食の価値」を確立・成長させる	4-1-2 五條の「あかね色」を原風景化する	
企画政策課	★					★	★			★	★	★					★	★		
管財課（情報システム室）										★										
危機管理課								★	★											
介護福祉課						★											★			
保健福祉センター						★														
児童福祉課	★	★	★																	
西吉野支所											★	★								
大塔支所												★								
生活環境課							★													
農林政策課												★	★		★		★			
企業観光戦略課									★					★		★				
まちづくり推進課				★			★		★											
公園緑地課									★											
水道局													★							
教育総務課	★			★	★			★												
学校教育課				★	★															
生涯学習課									★											
子ども未来課	★			★																

基本目標1 子どもを育てたいまちをつくる【事業総括】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	H28実績	H29実績	H30実績	今後の予定	担当課	番号
1. 子どもを育てたいまちをつくる	1-1 地域に馴染む子育ての充実	1-1-1 切れ目のない子育て支援を実施する	地域子育て支援拠点事業(保育施設、サービスの充実)	地域子育て支援拠点事業施設の開設場所及び事業内容の検討施設開設準備(設計・工事)及び運営方針の策定	平成29年11月1日五條市子育て支援センター「はっぴい」をイオン五條店2階に開設	イオン五條店2階「はっぴい」において地域子育て支援拠点事業及び一時預かり事業を実施。土曜日に限り、一時預かり事業の対象者を保育所等の通園者であっても利用可能とした。	利用者のニーズに応じた事業の実施。	児童福祉課	1
			子育てサークル活動支援事業	活動場所の提供や活動の支援	活動場所の提供や活動の支援(市の広報誌の活用)	子育て支援資源の育成のため、活動場所の提供や市の広報誌の活用を図る。	継続実施	児童福祉課	2
			地域公共交通確保維持改善事業(小児科等の医療機関へのアクセス改善)	五條バスセンターから「南奈良総合医療センター」に向かうコミュニティバスを平成28年4月1日より1日8往復運行開始	平成28年度に引き続き、五條バスセンターから「南奈良総合医療センター」に向かうコミュニティバス1日8往復の運行を継続。「南奈良総合医療センター」へのアクセスを確保している	平成28年度から継続している五條バスセンターから「南奈良総合医療センター」に向かうコミュニティバスの運行について、平成30年10月1日から従前の1日8往復から9往復に増便し、「南奈良総合医療センター」へのアクセスを強化した。	利用者の声を聞きながら、運行時間や五條バスセンターでの他の公共交通との接続等を検証し改善に努める	企画政策課	3
			幼保一体化施設(認定こども園)の整備事業	認定こども園の配置・整備に向けた協議	五條市立認定こども園整備基本計画(案)策定 公立幼稚園・保育所のあり方についての意見交換会開催	<ul style="list-style-type: none"> 『五條市立認定こども園整備基本計画(案)』についての説明会開催 『五條市立認定こども園整備基本計画』の策定 『五條市立認定こども園整備基本計画』についての説明会開催 『五條市認定こども園整備推進実施委員会』の開催 『五條市認定こども園カリキュラム策定委員会』の開催 公立幼稚園・保育所職員研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園カリキュラムの検討 公立幼稚園・保育所職員研修会開催 公立認定こども園の整備 	子ども未来課(教育総務課)(児童福祉課)	4
			子育て支援等のソーシャルビジネス支援体制の整備事業	支援体制等の情報収集	関係機関及び他の自治体等からの情報収集	関係機関及び他の自治体等からの情報収集。	希望事業者の支援策を継続実施	児童福祉課	5
	1-2 結婚・出産の環境づくり	1-2-1 出産しやすい環境をつくる	子育て世代の交流の場づくり事業	五條児童館における年齢別親子教室(0,1,2歳児)の実施 子育て支援センター設置に向けての検討・計画策定	五條児童館における年齢別親子教室(6ヶ月～就学前)の実施 子育て支援センターにおいて自由参加イベント「はっぴいにあつまれ」を毎週水曜日に実施	五條児童館では、年齢別親子教室(6ヶ月～就学前)及び親子ふれあい事業を実施。 子育て支援センターにおいては、自由参加イベント「はっぴいにあつまれ」を毎週水・木曜日の週2日の実施に拡大した。	五條児童館と子育て支援センターとの連携事業の検討。	児童福祉課	6
			婦人科等の医療機関へのアクセス改善	五條バスセンターから「南奈良総合医療センター」に向かうコミュニティバスを平成28年4月1日より1日8往復運行開始	平成28年度に引き続き、五條バスセンターから「南奈良総合医療センター」に向かうコミュニティバス1日8往復の運行を継続。「南奈良総合医療センター」へのアクセスを確保している。	平成28年度から継続している五條バスセンターから「南奈良総合医療センター」に向かうコミュニティバスの運行について、平成30年10月1日から従前の1日8往復から9往復に増便し、「南奈良総合医療センター」へのアクセスを強化した。	利用者の声を聞きながら、運行時間や五條バスセンターでの他の公共交通との接続等を検証し改善に努める	企画政策課	7
			1-2-2 出会いの環境をつくる	婚活イベント事業	婚活イベントの検討、実施体制づくり	GOJO出会い協議会に補助金を交付し、婚活イベントを実施	11月に五條文化博物館の別館にて市主催の婚活イベントを実施。	民間のノウハウを活用した婚活イベントの実施。	児童福祉課
		結婚幹旋団体のネットワーク構築事業	結婚応援ネットワーク構築について検討	関係機関及び他の自治体等からの支援体制等の情報収集	関係機関及び他の自治体等からの情報収集。ネットワーク構築の働きかけを実施。	結婚応援ネットワーク構築活動等。	児童福祉課	9	

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	H28実績	H29実績	H30実績	今後の予定	担当課	番号
1. 子どもを育てたいまちをつくる	1-3 選ばれる教育環境づくり	1-3-1 まちづくりと一体となった学校の規模と配置の適正化に取り組む	学校の規模・配置の適正化に関する推進事業	五條市学校適正化検討委員会審議・答申 五條市教育フォーラムの開催 五條市立小中学校の適正化に関する基本方針策定 五條市学校適正化推進実施委員会設置 五條市学校適正化基本計画素案の作成 説明会・意見交換会の開催	五條市教育委員会フォーラム開催 五條市学校適正化推進実施委員会開催 説明会・意見交換会開催 五條市学校適正化基本計画(案)策定 五條市立地適正化計画との整合性調整	『五條市学校適正化基本計画(案)』についての説明会開催 『五條市学校適正化推進実施委員会』を開催 『五條市学校適正化基本計画』の策定の説明会開催 学校統合協議会の開催 五條市小・中連携事例交流会開催(旧五條市教育フォーラム) 立地適正化計画の公表 立地適正化計画で都市機能誘導区域における誘導施設に子育て支援施設を設定	学校統合協議会の開催 五條市小・中連携事例交流会の開催 統合小・中学校の整備	子ども未来課 まちづくり推進課	10
		1-3-2 将来を担う人を育て、まちをつくる教育内容の適正化に取り組む	教育内容の適正化の推進事業(9年間の教育体制の構築、質名生分校のあり方検討)	市教科等研究委員会において各教科・領域の9年間を見通したカリキュラムを作成	日々の学習指導や小中連携の研究授業に反映している。	9年間を見通したカリキュラムは、日々の学習指導や小中学校が連携した合同研究授業への反映している。	学習指導への反映 小中学校が連携した合同研究授業への反映	学校教育課	11
			教育内容の適正化の推進事業(質名生分校のあり方検討)	基本方針の策定 授業内容の検討 宿舍整備の設計 協力農家の組織化	寄宿舎の整備完了 全国募集に係る広報活動実施 協力農家の募集・説明 学習カリキュラムの策定	全国募集広報の継続実施 地域農家の協力による実習実施 新たなカリキュラムに基づく授業の実施	寄宿舎の拡充整備 全国募集の広報継続 農家実習の枠組みの完成 新たなシステムによる授業の開始	教育総務課	12
			通級指導教室開設事業	五條市通級指導教室を設置	モデル的に通級指導教室訪問巡回事業に取り組んだ	通級指導教室訪問事業を受ける児童数は増加。 自校通級の人数も増加。	通級指導教室の充実	学校教育課	13

基本目標1 子どもを育てたいまちをつくる【KPI総括】

重要業績評価指標(KPI)の状況

基本的方向	重要業績評価指標名(KPI)	当初(H26)	(H28)	(H29)	現時点(H30)	目標値(H31)	状況評価	備考
1-1 地域に馴染む子育ての充実	地域子育て支援拠点事業への未就園児童の参加率(%)	20	23	62.5	52.6	30	◎	
	子育てサークル数(団体)	1	1	1	1	3(累)	△	
	就学前教育保育の質の向上に向けた研修会の開催(回数)	—	0	0	3	3(各年度)	◎	
1-2 結婚・出産の環境づくり	婦人科等の医療機関へのバス路線数(路線)	—	1	1	1	1(累)	◎	
	子育て世代の交流の場づくり事業延べ参加人数(人)	2,600	2,034	2,086	2,204	3,000	○	
	事業推進による成婚数(件)⇒ 婚活イベント参加者数(人・累)	—	0	0⇒ 20(累)	0⇒ 30(累)	5(累)⇒ 60(累)	—	魅力的な婚活イベントを継続開催していくとともに、指標の見直しが必要。
1-3 選ばれる教育環境づくり	学校統合に向けた統合対象校ごとの学校統合協議会(回数)	—	2	4	7	12(各年度)	○	
	全国学力・学習状況調査正答率	教科によっては全国平均を上回っている	全国平均は下回っているが、同一集団の学力は伸びている	中学校では全国平均とほぼ同じ 小学校では算数が特に下回っている	中学校では全国平均少し下回っているが、同じ教科もある。同一集団の学力は伸びている	実施された全教科の正答率が全国平均を上回る	○	
	五條高校賀名生分校オープンスクールへの県外からの参加者(人)	—	—	20	20	20(各年度)	◎	

状況評価基準	◎	:数値目標は達成済み
	○	:達成に向け事業推進中
	△	:より一層の努力が必要
	—	:指標の見直しが必要

基本目標2 安心して定住できる都市をつくる【事業総括】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	H28実績	H29実績	H30実績	今後の予定	担当課	番号
2. 安心して定住できる都市をつくる	2-1 安心・快適なまちづくり	2-1-1 住みよいまちづくりに取り組む	地域包括ケアシステム構築事業	高齢者アンケート調査、地域ケア会議を実施し、五條市地域包括ケアシステム全体構想を策定 実現に向けた取り組み支援 ・地域ケア会議の実施 ・新しい総合事業実施に向けての準備	・地域ケア会議を日常生活6圏域で継続実施 ・介護予防・日常生活支援総合事業を平成29年4月から実施 ・認知症サポーター養成講座を自治連合会単位で計画的に実施 ・「いきいき百歳体操」を取り入れた住民主体による介護予防活動を実施	・地域ケア会議による住民からの意見を反映し、地域の見守りを推進するため、「あんしん見守り・SOSネットワーク」を構築 ・介護予防・日常生活支援総合事業により地域の実状にあった介護予防サービスを提供 ・医療・介護の連携の推進するため入退院調整ルールを南和圏域で策定 ・「いきいき百歳体操」を取り入れた住民主体による介護予防活動が、22か所に拡充	・地域ケア会議の継続実施 ・介護予防・日常生活支援総合事業の推進 ・在宅医療・介護の連携の推進 ・住民主体による介護予防活動の拡充 ・コミュニティナースの活動により高齢者の地域課題の把握、各関係機関と連携しての高齢者支援	介護福祉課	14
			健康増進推進事業(健診等)	健康増進事業の実施	健康増進事業の実施(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診等)	健康増進事業の継続実施(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診等) ※受診率向上への取組 ・国保対象者の受診意向調査及び郵便申込 ・インターネットによる申込	継続実施	保健福祉センター	15
			地域公共交通整備事業	五條バスセンターから南奈良総合医療センター及び福神駅への路線を整備	平成28年度に引き続き、五條バスセンターから南奈良総合医療センター及び福神駅間のコミュニティバスの運行を継続。	平成28年度から継続している五條バスセンターから南奈良総合医療センター及び福神駅に向かうコミュニティバスの運行について、平成30年10月1日から従前の1日8往復から9往復に増便し、利便性を向上させた。	「五條市地域公共交通網形成計画」を策定した上で、ワーキンググループを設置し、現状の交通網の再検証を行う。	企画政策課	16
			長期私鉄新駅誘致促進事業(実現可能性調査等)	私鉄新駅誘致促進事業(実現可能性調査等)を継続実施	私鉄新駅誘致促進事業(実現可能性調査等)を継続実施	私鉄新駅誘致促進事業(実現可能性調査等)を継続実施	継続実施	企画政策課	17
		2-1-2 新しい居住スタイルを発信する	住宅取得補助金交付事業	UIJターン住宅取得補助金・新婚世帯住宅取得補助金事業の実施	UIJターン住宅取得補助金・新婚世帯住宅取得補助金事業の実施	UIJターン住宅取得補助金・新婚世帯住宅取得補助金事業の実施	継続実施	企画政策課	18
			空き家の再生利用促進事業	空き家の無料相談窓口の開設、空き家調査、HPによる空き家の情報提供を開始	平成29年10月、五條市空家等対策協議会条例施行、立ち上げ。 平成30年3月 五條市空家等対策計画策定。 官民連携による空き家利活用の推進	官民連携による空き家利活用の推進 維持管理、活用等に関する相談体制の構築 老朽危険空き家除却事業補助金事業の実施	維持管理、活用等に関する相談体制の構築 官民連携による、空き家利用希望者の受け入れ、利活用の推進 特定空き家等除却事業補助金の継続実施	まちづくり推進課 生活環境課	19
			金融機関等と連携した住宅取得支援事業	五條市と金融機関との意見交換 具体的な連携内容を調査	五條市と金融機関との意見交換 具体的な連携内容を調査	五條市と金融機関との意見交換 具体的な連携内容を調査	市内金融機関における当該制度に係る優遇金利率の見直し 住宅金融公庫「フラット35」との業務連携を検討	企画政策課	20

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	H28実績	H29実績	H30実績	今後の予定	担当課	番号
2. 安心して定住できる都市をつくる	2-1 安心・快適なまちづくり	2-1-3 広域防災・防災教育の要をつくる	県の広域防災活動拠点整備推進事業	整備推進事業として防災講演会を実施	広域防災拠点整備に向けた地籍調査事業の実施(～H30) 奈良県とのまちづくり包括協定に7/21、「五條西地区」を追加	県南部駐推協による要望活動、政府予算要望。	防災拠点施設用地調査及び基本構想策定	危機管理課	21
			長期自衛隊駐屯地誘致事業	自衛隊誘致促進事業業務 市民等駐屯地見学 防災講演会	自衛隊誘致促進事業業務 市民等駐屯地見学	自衛隊誘致促進事業業務 市民等駐屯地見学	継続実施	危機管理課	22
			2-1-4 安心できるまちづくり	学校施設での防犯対策事業(学校等への防犯カメラの設置)	未設置の学校(中学校に)防犯カメラ設置	適正な維持管理の実施	適正な維持管理の実施	目標を達成し、事業を終了	教育総務課
		安全運転管理機器等導入促進事業(ドライブレコーダーの普及促進)	安全運転管理機器等導入促進事業(ドライブレコーダーの普及促進)の実施	安全運転管理機器等導入促進事業(ドライブレコーダーの普及促進)の実施	安全運転管理機器等導入促進事業(ドライブレコーダーの普及促進)の実施	安全運転管理機器等導入促進事業(ドライブレコーダーの普及促進)の実施	継続実施	危機管理課	24
			長期消防団等の地域組織の再編成事業	消防団員の装備品等を充実させ、自治消防機能を強化	消防団員の装備品等を充実させ、自治消防機能を強化	H29年度と同様	継続実施	危機管理課	25
			2-1-5 大阪・神戸・京都・奈良を結ぶ広域ネットワークを構築	五條インター周辺整備事業(道の駅整備)	道の駅を含む、五條インター周辺地域振興拠点施設整備基本計画検討	五條インター周辺地域振興拠点施設整備基本計画の策定と意見交換会の実施、基本計画に基づく官民連携事業の可能性	中部・近畿・北陸ブロック下期サウンディングに参加 11社の意見交換参加者があった	道の駅整備基本計画に基づく事業手法の検討 建物、造成、基盤設計 造成工事	まちづくり推進課
		奈良県及び周辺市町村と連携した観光振興策の展開	従来から参画している広域観光圏協議会での情報交換及び連携の強化並びに首都圏への共同プロモーション等の参加	・広域観光によるツアー商品の開発 ・吉野地域DMO設立に向けた協議	・奈良県南部で構成している中南和広域観光協議会で、各市町村をまたぐインバウンドモニターツアーの開催 ・吉野地域DMO設立に向けた継続協議		引続き広域観光圏協議会での取組及び吉野地域DMOの設立及び参画について調査研究	企業観光戦略課	27
		ICカード乗車券対応改札機の設置事業	JR西日本との協議	平成30年3月17日に五條駅～高田駅間にICカード対応改札機設置済 今後2年かけてICカード車載器搭載車両が整備される予定であり、JR和歌山線全線でICカードの使用が可能となる	昨年度に五條駅、北宇智駅にICカード対応改札機設置済。 ICカード車載器搭載車両整備により来年度中にJR和歌山線全線でICカードの使用が可能となる予定。	継続協議	企画政策課	28	
		観光施設等へのWi-Fi整備事業	設置個所の検討 新町地区の3施設及び上野公園に無料公衆無線LANの環境を整備	新たな設置個所の検討 追加整備個所の実績なし	設置個所の検討 保健福祉センター 西吉野支所、大塔支所 星のくに、観光交流センター 計5施設に無料公衆無線LAN環境を整備	新たな設置個所の検討 随時整備	管財課(情報システム室)	29	
		長期スポーツイベント、キャンプ誘致等推進事業	上野公園内に総合体育館を建設 総合体育館を活用したスポーツイベントの開催(卓球:伊藤美誠、柔道:篠原信一)	スポーツ・文化イベントの開催(バスケット:バンビシャス奈良 柔道:「道場わっしょい」 文化:国民文化祭 他) 合宿補助金による市外団体の利用促進	スポーツ・文化イベントの開催(柔道:「シダースーパーカップ」 文化:「奈良県大芸術祭・障害者大芸術祭オープンイングイベント」 他) 合宿補助金による市外団体の利用促進。	スポーツイベントの継続開催(バスケットボール:バンビシャス奈良 柔道:「シダースーパーカップ」 相撲:「大相撲五條場所」 他) 奈良県大芸術祭・障害者大芸術祭オープンイングイベント	公園緑地課・生涯学習課・企業観光戦略課	30	
		長期大型商業施設の誘致・検討事業	県と誘致可能性について検討	・会議のみで具体的進捗なし	会議のみで具体的進捗なし	継続検討	企業観光戦略課	31	

基本目標2 安心して定住できる都市をつくる【KPI総括】

重要業績評価指標(KPI)の状況

基本的方向	重要業績評価指標名(KPI)	当初(H26)	(H28)	(H29)	現時点(H30)	目標値(H31)	状況評価	備考
2-1 安心・快適なまちづくり	高齢者に占める要支援・要介護認定率(%)	21 (要支援 5.8) (要介護 15.5)	22 (要支援 6.7) (要介護 15.0)	22 (要支援 7.4) (要介護 14.8)	22 (要支援 7.6) (要介護 14.5)	18	△	・全体の介護認定率は、横ばい ・H30要介護(1～5)の認定率は、H26に比べ、1.0%改善している。 ・介護の重度化防止が進んでいる。
	五條市UIターン住宅取得補助金申請件数(件)	—	H27: 18 H28: 9	11	14	15(各年度)	○	
	空き家に関する問合せ件数(件)	50	70	70	70	70(各年度)	○	
	自衛隊駐屯地誘致に関する市民の機運醸成を図るイベント等の年間実施回数(件)	2	H27: 2 H28: 2	0	4	4	◎	
	防犯カメラ設置校園数(校園)	11	15	15	15	15(全校園)	◎	
	ドライブレコーダー年間補助導入件数(件)	—	H27: 51 H28: 310	H28: 310 H29: 322	H29: 322 H30: 313	300(年間)	◎	
	消防団員数(人)	558	560	551	551	603(累)	—	
	五條インター周辺整備計画の策定	—	未策定	・基本計画策定 ・PFI導入可能性調査実施	平成29年度において策定済	平成30年までに策定	◎	
	ICカード乗車券対応改札機設置箇所数(箇所)	—	0	2	2(累計)	1	◎	
	観光施設等へのWi-Fi設置箇所数(箇所)※	31	32	32	32	46 33	—	・学校適正化等に伴い、目標値の見直しが必要(46→33) ・1施設でのキャリア撤去による減少(H29: 32→31) ・KPI見直しが必要(キャリアとノンキャリアの内訳および実績が不明瞭であるため)

状況評価基準	◎	:数値目標は達成済み
	○	:達成に向け事業推進中
	△	:より一層の努力が必要
	—	:指標の見直しが必要

基本目標3 地域資源で新たな産業をつくる【事業総括】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	H28実績	H29実績	H30実績	今後の予定	担当課	番号
3. 地域資源で新たな産業をつくる	3-1 地域資源を活かした産業づくり	3-1-1 裾野の広い観光産業を確立する	地域資源(文化財、五新鉄道跡活用等)を活用した観光促進事業(市内観光資源のパッケージ化)	五新鉄道跡地活用可能性検討 西吉野地区長期活性化プランによる事業展開の整理 未成線サミット・木レールイベント開催 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	五新線跡地の活用を前提とした西吉野城戸エリア周辺整備計画策定 第5回木レールイベント開催 吉野三山ルートマップ作成に向けた委託契約締結(H30へ繰越)	五新線を活用した場合の観光資源とした場合の集客数を調査するため ウォークイベントを3日間開催 吉野三山ルートマップ作成 第6回木レールイベント開催 五新線跡活用に向けた、トンネル点検・補修設計業務実施	五新線、吉野三山等を活用した観光事業の検討と実践、社会実験の実施支援 きずみ館を活用した交流促進事業支援	企画政策課・企業観光戦略課・西吉野支所	32
			新たな観光資源創出事業	「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	・吉野地域DMO設立に向けた協議 ・高野山麓ツーリズムビューロ参画に向けた協議	・吉野地域DMO設立に向けた継続協議 ・高野山麓ツーリズムビューロ参画に向けた協議の結果、民間の力が多く必要と判断し、観光協会と協議し、観光協会が令和元年度より参画する。	市内事業者や旅行者によるDMC活動として、モデル的に観光資源化に取組み自立展開できるように、地域商社等がコーディネートする 吉野地域DMOの設立や紀北DMOとの連携体制について調査研究	企画政策課・企業観光戦略課	33
		3-1-2 木質バイオマスによる産業づくり	公共施設のバイオマス活用促進事業(きずみ館改修事業等)	木質バイオマス利用可能量の把握・需要候補施設の抽出 導入可能性のある公共施設の抽出・利用モデルの検討、将来的に展開する民間施設の抽出 きずみ館におけるバイオマスボイラ導入モデル、改修方針検討	木質バイオマスを燃料とするきずみ館大規模改修工事に向けた設計業務委託契約締結(H30へ繰越) (仮称)木質チップ生産施設整備事業について、国庫補助事業申請を行ったが未採択となり、事業経費等再度見直しを行い、採算ベースに目処が立った	(仮称)木質チップ生産施設整備事業が国庫補助事業対象となり、工事発注を行い、令和元年9月30日工事完了に向け工事進行中。併せて必要備品を購入。 また、木質バイオマスを燃料とするきずみ館大規模改修実施設計委託業務は増築部分設計業務を実施(H31へ繰越)	バイオマスタウン構想の見直しを視野に入れ、木質バイオマス活用を検討する 市内集材基地の創出 地域材搬出取組の強化 きずみ館の改修・共用開始、利活用案の検討	企画政策課・農林政策課・西吉野支所・大塔支所	34
		3-1-3 地産地消をエコツアーとして確立する	地産地消のパッケージ化支援事業	ブランド戦略(案)検討によるパッケージ化対象となる地域資源及び地域人材の整理	H29年3月に「地域・産業ブランド推進協議会」を設立 官民連携により様々な地域資源の活用を検討	「地域・産業ブランド推進協議会」において官民連携により様々な地域資源の活用を継続して検討	地域資源を活かした地産地消パッケージ化 官民連携による効果的な取組展開	企画政策課・農林政策課	35
		3-1-4 水資源を活用した産業づくり	水道広域化検討調査の動向把握	五條吉野エリアとして水道の広域化を検討	五條吉野エリアが県域水道一体化かを検討	広域化の動向を踏まえた検討	水道局	36	

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	H28実績	H29実績	H30実績	今後の予定	担当課	番号
3. 地域資源で新たな産業をつくる	3-2 起業・創業の環境づくり	3-2-1 起業・創業に係る支援環境づくり	起業・創業支援事業	随時起業・創業相談の実施	随時起業・創業相談の実施 (5件)	随時起業・創業相談の実施 (1件)	随時起業・創業相談の実施 各種資金提供・利子補給等の受付	企業観光戦略課	37
		3-2-2 農業経営を支援する	遊休農地の活用・農地集積促進事業	農地集積協力金交付事業の活用による農地集積	耕作者集積協力金19件 210,900円を交付	地域集積協力金1件 1,150,800円交付 耕作者集積協力金27件 382,000円交付 経営転換協力金3件 202,500円交付	継続実施	農林政策課	38
			事業拡大等の支援事業	経営体育成支援事業等を活用し、担い手を中心に経営規模の拡大のための機械導入等の支援	2経営体 補助金額 1,778,000円	0経営体 補助金額0円	継続実施	農林政策課	39
			農林業就業希望者の受け入れ・育成事業	農業次世代人材投資事業等の活用 経営体育成支援事業等の活用	12名の交付対象者に対し、15,000,000円の農業次世代人材投資資金を交付	10名の交付対象者に対し、11,250,000円の農業次世代人材投資資金を交付	継続実施	農林政策課	40
	3-2-3 高齢化社会に適応した雇用づくり	買物支援・移動販売の促進事業	市内山間地域における買物困難者対策事業移動販売業務の実証	実証が終了したが、3年目の業務委託を行う。買物弱者への支援や見守りといった福祉要素が強い	業務委託を継続している。年々売り上げが落ち込んでおり、事業としては難しい状態。	実証が終了し業務委託による実施、福祉部門での事業展開の検討	企業観光戦略課	41	
		高齢者等の見守り支援事業	緊急通報装置設置等の高齢者等の見守り支援ネットワーク事業	平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始。元気な高齢者が生活支援サービスを提供できるよう、市が指定した研修を受講したものが従事者となるよう訪問型サービスAを創設	元気な高齢者が、支え手側に回り、生活支援サービス等を提供することで、社会参加と生きがいづくりができるよう、介護予防・日常生活支援総合事業を推進	元気な高齢者が、支え手側に回り、生活支援サービス等を提供することで、社会参加と生きがいづくりができるよう、介護予防・日常生活支援総合事業を推進していく。	介護福祉課	42	

基本目標3 地域資源で新たな産業をつくる【KPI総括】

重要業績評価指標(KPI)の状況

基本的方向	重要業績評価指標名(KPI)	当初(H26)	(H28)	(H29)	現時点(H30)	目標値(H31)	状況評価	備考
3-1 地域資源を活かした産業づくり	五新鉄道跡活用事業数(件)	1	3	3	3	3	◎	五新線ウォーク・木レールイベント開催 桜苗木植栽
	市内の施設での木質ペレットの利用件数(件)	—	調整中	調整中	調整中	1(累)	△	乾燥チップにて事業推進中 利用先施設として「きずみ館」において木質バイオマスボイラーの導入を検討中
	(仮称)エコツアー検討協議会の設置	—	調整中	1	1(累)	平成30年までに設置	◎	
3-2 起業・創業の環境づくり	市内での新規創業に関する相談の実施(件)	—	3	5	1	平成28年度より実施	○	
	市内での新規創業件数(件)	—	0	0	2	5(累)	△	
	農地集積面積(a)	3,374	5,541	6,062	15,755	3,500	◎	

状況評価基準	◎	:数値目標は達成済み
	○	:達成に向け事業推進中
	△	:より一層の努力が必要
	—	:指標の見直しが必要

基本目標4 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる【事業総括】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	H28実績	H29実績	H30実績	今後の予定	担当課	番号
4. 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる	4-1 地域ブランドの確立による観光・交流づくり	4-1-1 五條の「食の価値」を確立・成長させる	五條の特産品PR事業	ブランド戦略(案)検討によるプロモーション方針の体系化 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	各種イベントにジビエ汁やレトルトカレーの販売、試食会などを実施し広く消費者に宣伝をしている ジビエフェスタも沢山来場者を迎え、中でもカレーコンテストは盛大に開催し好評を得た	各種イベントにジビエ汁やレトルトカレーの販売、試食会などを随時開催して宣伝活動を推進した。	地域ブランドの確立にむけた各種イベントを開催予定。	農林政策課	43
			ジビエ等を活用した新たな商品開発に関する支援事業	ブランド戦略(案)検討によるプロモーション方針の体系化 高級ブランドイメージ戦略の検討(フレンチ) 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	OEM商品①ジビエカレーイノシシ、シカの中辛、甘口発表②ジビエ燻製猪・鹿肉③ジビエ餃子を発表した ペットフード事業は、五條市内にペットフード加工販売業者が誕生したことを受け肉の提供等支援することとなった 全国ジビエフェスタは2日間を通して開催。好評を得た 取扱店も増加している	OEM商品ジビエ肉饅を発表した。 ペットフード事業は、市内ペットフード加工販売業者へ安定提供できた。 肉以外の利用価値に着目したセーム革関連商品開発と豚関連商品開発に着手している。	肉以外の利用価値に着目した商品開発・試作品の製造。 食肉・加工品については、県マーケティング課と連携した販路拡大・収益拡大を図る。	農林政策課	44
			4-1-2 五條の「あかね色」を原風景化する	「大和五條のあかね色」を有効活用した本市のブランディング事業	ブランド戦略(案)検討によるブランド化の全体像検討 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	地方創生推進交付金を活用し、あかね染めタペストリーを試験作成。 文化博物館にて展示し、周知に努めている	NPOと横浜美術大学によるあかね染めワークショップの開催	三者協定に基づくブランドロゴマークづくり 五條あかねのプロモーション活動	企画政策課
		あかね栽培、染色産業の活性化支援事業	ブランド戦略(案)検討によるブランド化の全体像検討 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	地方創生推進交付金を活用し、研究機関によりあかねの成分分析を実施 育成条件や、染色による発色の研究に活用予定	前年度の成分分析結果等を参考に、あかねの効果的な育成方法について民間組織により育成中	五條あかねのプロモーション活動 五條赤根に関する事業スキームの調整・確定 あかね栽培・染色事業の市内展開支援 五條あかねの商品化支援	企画政策課	46	

基本目標4 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる【KPI総括】

重要業績評価指標(KPI)の状況

基本的方向	重要業績評価指標名(KPI)	当初(H26)	(H28)	(H29)	現時点(H30)	目標値(H31)	状況評価	備考
4-1 地域ブランドの確立による 観光・交流づくり	ジビエの出荷額(千円)	—	7,212	10,548	11,882	10,600	◎	
	ジビエ肉加工施設での雇用の創出数(人)	2.5	5	5.5	5.5	3.5	◎	
	(仮称)地域ブランド協議会の設立	—	設置	—	—	平成28年までに設置	◎	「地域・産業ブランド推進協議会」として平成29年3月設置済 H30年度においては協議会から一般財団法人大塔ふる里センター理事を選出。令和3年度に当該法人を母体とした「地域商社」の設立を目指す。

状況評価基準	◎	:数値目標は達成済み
	○	:達成に向け事業推進中
	△	:より一層の努力が必要
	—	:指標の見直しが必要

地方創生推進交付金事業(H29年度開始～H31年度事業)

事業名：地域・産業ブランド推進事業

本事業は、平成28年度に設置した「地域・産業ブランド推進協議会」を活動母体として、既存の公的財団法人及び、民間事業者により各種地域資源の活用を基本に運営する法人形態や機関設計検討、新たな収益事業の組成と確立、モデル的なプロモーション活動の展開を行いつつ、事業計画を具体化し、平成30年度には商社機能を兼備えた、新たな核組織となる「(仮称)五條市産業連携組織」の設立を行う。

平成29年度は、「地域・産業ブランド推進協議会」に参画する民間企業・各種団体による議論のもと、単に自らの事業の目先の収益性追及に終始することなく、地域内各種事業者との協働により、地域の住みやすさや価値、知名度を高める活動の必要性の確認とともに、各事業の将来を担う人材を受け入れ育てることが地域の持続的発展に繋がることを確認し、このような認識を地域住民や各種団体、行政等と共有し、個々の主体が具体事業として展開する際の行動規範やルールの検討・整備、商社化も見据えた新たな核組織となる「(仮称)五條市産業連携組織」の形態検討を行う。

事業概要：平成30年度以降は、「(仮称)五條市産業連携組織」において、自立経営を前提に市所有で現在既存財団法人が運営する第三セクター施設、未活用資源で市所有の鉄道(未成線)遺構「五新線」を活用し、時代のニーズに沿った公益性と採算性が両立した事業展開を行う。またそれに向けて、関連するハード整備も進める。

これら事業展開には、地域内外の民間企業・各種団体の参画を「(仮称)五條市産業連携組織」が積極的に促し、それぞれの知識、経験、人脈、資金、資源などを集約、共有、再編することで、最適なプロモーションと商品・サービスの開発、生産、提供により、地域の観光・産業等の再興と福祉の融合、他に誇れる地域イメージの確立に努める。また、農業分野では、特産物の将来に渡る振興のため、別途事業において市内の高校(五條高校賀名生分校)に全国から生徒の受入れを行い、農業に特化した高校に再編するが、ここへの生徒募集に関して、地域ブランド農産物のプロモーションと一体的に取り組むことで、教育が地域農業や地域づくりと密接に連携し、卒業後の就職(就農)、定住促進、空き家対策、中山間のコミュニティ形成等へと発展する「五條モデル」の構築を目指す。

事業実績：1. 地域産業ブランド戦略の推進 2. プロモーション事業 3. 五新線トンネル橋梁補修事業(設計業務) 4. 木レールイベント事業

		当初値	1年目		2年目		3年目		状況評価	備考
		H28年度 実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
KPI ①	「地域・産業ブランド推進協議会」の提案により展開する新規事業数(件)	0	2	3	3	3	3	—	◎	・大塔小中学校校舎福祉活用 ・道の駅大塔テント販売(5月連休) ・レストラン銀河(夢の湯)の再開
KPI ②	既存財団法人による主要事業(ロジ星のくに、道の駅、大塔資料館等)の収益額(千円)	0	0	—	3,700	2,000	5,300	—	△	路線バス利用促進策とのタイアップによる利用者の増加に伴う収益増(但し、台風等の影響により法人全体の収益は減)

状況評価基準	◎	:数値目標は達成済み
	○	:達成に向け事業推進中
	△	:より一層の努力が必要
	—	:指標の見直しが必要

地方創生交付金事業

地方創生推進交付金事業(H30年度開始～H32年度事業)

事業名：「明治150年」関連施策推進事業

平成30年(2018年)は、明治改元が布告された明治元年(1868年)から起算して満150年になることから、平成28年10月に内閣官房に「明治150年」関連施策推進室が設置された。

事業概要：「明治以降の歩みを次世代に遺し、明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ」という方針のもと、国・都道府県・市町村・民間をあげて関連施策が推進されてるのに併せ、「日本の2大開国は、大和政権と明治政府によって為された」という観点から、開国を成功させた歴史の轍を比較検証し、大和政権(古代)と明治を対比して考え、県内市町村と連携した関連事業を積極的に展開していく。

<五條市分>

○歴史文化資源説明力向上研修を通じて、幕末・明治維新期の歴史文化資源の魅力についてのより深い知見を蓄積

○明治維新150年記念事業in五條(平成30年度)

事業実績：・明治維新の魁となった五條市で、一坂太郎氏による天誅組の講演や映像作家保山耕一氏の映像【天忠組】の上映を行った。前日には前夜祭と称し、地元小学生や団体による天誅組を題材にした音楽演奏等を行った。

○明治維新150年記念事業(平成30年度)

・天誅組ゆかりの地(五條市・安堵町・十津川村・東吉野村)と連携し奈良市東大寺金鐘ホールで、首長連中によるパネルディスカッションや岡本彰男氏による天誅組の基調講演。また参加者に天誅組がどういった組織だったか分かりやすいように映像作家保山耕一氏の映像【天忠組】の上映を行った。

		当初値	1年目		2年目		3年目		状況評価	備考
		H29年度 実績値	H30年度 目標値	H30年度 実績値	H31年度 目標値	H31年度 実績値	H32年度 目標値	H32年度 実績値		
KPI ①	奈良県北部地域を除く地域における観光入込客数28,600千人(千人)	26,000	860	計測中	870	—	870	—	○	平成30年度の実績値は、今年10月頃にまとまり、奈良県より公表される予定

状況評価基準	◎	:数値目標は達成済み
	○	:達成に向け事業推進中
	△	:より一層の努力が必要
	—	:指標の見直しが必要